

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	外国語教育推進事業		担当部署	教育委員会 教育支援室		
総合計画体系			根拠法令 計画など	『英語が使える日本人』育成のための戦略構想(H14)、学習指導要領(H20)、『グローバル化に対応した英語教育改革実施計画』(H25)『世界にはばたく鳴門の子ども育成プラン』(H25)		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと				
(小項目)	教育行政		終期		未定	
施策	1	教育行政の充実				
基本事業	6	教育支援体制の充実				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市内幼・小・中学校児童・生徒 豊かな国際感覚とコミュニケーション能力、確かな英語力を身につけた「世界にはばたく鳴門の子ども」を育成する														
事業計画	28年度に何を計画していたか	○中学校への派遣 年間約43H/1クラス 月4.3H(総時数の34%へ) ○小学校への派遣 5,6年(20H/1クラス) 3~4年(8H/1クラス) 1~2年(7H/1クラス) ○研究開発学校へは 1,2年(10H/1クラス) 3,4年(20H/1クラス) 5,6年(25H/1クラス) ○幼稚園への派遣(2.3回) 小規模園は、複数回。(小学校への訪問の際に、15分程度活動。)														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合	50	55	55	55	55	%
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合	50	55	55	55	55	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業推進プロジェクトチーム会議の開催(8月、3月) ②市内全中学生対象の英検IBAの実施と結果の検証 ③英検受験料補助事業の奨励(市内全中学生、全級対象、1人年1回)及び学生サポーターによる指導支援 ④市内全中学生(6月)、全小学4、5、6年生(2月)対象の意識調査の実施と結果の検証 ⑤グローバル人材講演会やイングリッシュキャンプの実施 ⑥小中学校教員対象の夏季研修会の実施(7回) ⑦小中高連携外国語教育研究委員会の活動の充実																					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																						
活動指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>30年度目標</th> <th>31年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 幼・小・中学校訪問日数</td> <td>1,127</td> <td>1,275</td> <td>1,478</td> <td>1,478</td> <td>1,478</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>2 英検受験者数(3級以上)</td> <td>212</td> <td>241</td> <td>250</td> <td>260</td> <td>270</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	1 幼・小・中学校訪問日数	1,127	1,275	1,478	1,478	1,478	日	2 英検受験者数(3級以上)	212	241	250	260	270	人	
指標名	27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位																	
1 幼・小・中学校訪問日数	1,127	1,275	1,478	1,478	1,478	日																	
2 英検受験者数(3級以上)	212	241	250	260	270	人																	
成果指標	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合</td> <td>47</td> <td>54</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td colspan="2">98.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合	47	54	—	—	—	%	目標達成率(実績/目標)	98.2		—	—	—	%								
中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合	47	54	—	—	—	%																	
目標達成率(実績/目標)	98.2		—	—	—	%																	
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり																				

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	32,727	32,727
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	32,727	32,727
		決算額	0	0	0	0	30,741	30,741
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
	2.0	0.0		14,266		45,007		

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:外国語教育推進事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	27,914	30,741	36,871	36,871	36,871
	うち一般財源	23,852	30,741	36,870	36,870	36,870
	人件費	13,718	14,266	14,266	14,266	14,266
	総事業費	41,632	45,007	51,137	51,137	51,137

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		ALTを9月から1名増員できたことで、市内各幼稚園や小中学校への訪問数、研究開発学校への訪問数が、前年度よりさらに確保できた。
	効率性	A:効率的だった		英検受験者数は昨年度の目標値、及びこれまでの最高である25年度を上回ることができた。
②成果に対する評価	指標名	中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合		「外国の人に英語で話しかけられたら」の問いに「英語で答える」と答えた中学2年生の割合は、前年度より7%も上昇したが、目標には、わずか1%及ばなかった。
	目標	55	%	
	実績	54	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		ALTの幼・小・中訪問日数と英検受験者数は増加したが、「外国の人に話しかけられたら英語で答える」生徒の割合は目標に達しなかったことから、B評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>新学習指導要領実施への移行措置に伴い、外国語教育の在り方、移行期間中の時数等について検討委員会等で協議を重ね、円滑な実施をめざす。                      新たに全級3分の1補助と改正された英検補助金制度について、奨励と検証を工夫する。                      「外国の人に英語で話しかけられたら英語で答える」と回答する中学2年生の割合をさらに増やしていくため、モチベーションの喚起や英語を使う場の設定、及び各中学校における授業改善のために、研修会や授業研究会の充実を図る。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	平成30年度からの移行措置期間での実施時数や内容等について、現場の意見を反映させながら、検討委員会等で協議を重ね、市としての方針を示すことができるようにする。 児童生徒の英語学習への意欲を喚起し、英検受験率の上昇をめざすために、イングリッシュキャンプや、教員研修の工夫・改善に努める。			
	H30年度	英検補助金制度についての検証を行い、さらに効果的な制度に向けて見直しや広報活動の工夫を図る。 児童生徒に「豊かな国際感覚とコミュニケーション力、確かな英語力を育成する」という目標を、小中教員が共有できるよう情報発信を行ったり、児童生徒のための授業改善につながる研修を工夫したりする。			